

梅雨時期のピシウム病、 赤焼病の予防防除に

芝生用/殺菌剤

ザンプロターフ®

適用拡大

「ピシウム病」に**少水量散布**※が追加!

※希釈倍数：200倍、使用液量：0.1L/m²

(2023年9月27日の拡大登録内容)

 **BASF**

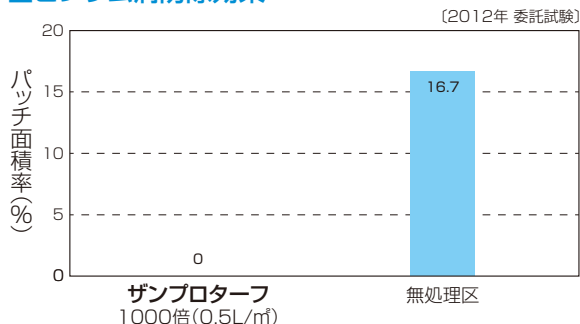
We create chemistry

ザンプロターフ®

新規系統有効成分「イニシウム®」配合 梅雨時期のピシウム病、赤焼病の予防防除に最適

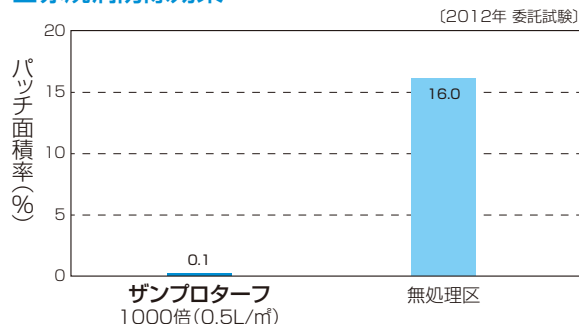
●ピシウム菌に対する高い予防効果

■ピシウム病防除効果



試験機関：東日本グリーン研究所
試験場所：茨城県内ゴルフ場ナーセリー
芝種：ベントグラス(L-93)
薬剤処理日：6月14日(病害発生前)、
6月21日
調査日：6月28日(最終処理7日後)
対象病害発生状況：中発生

■赤焼病防除効果

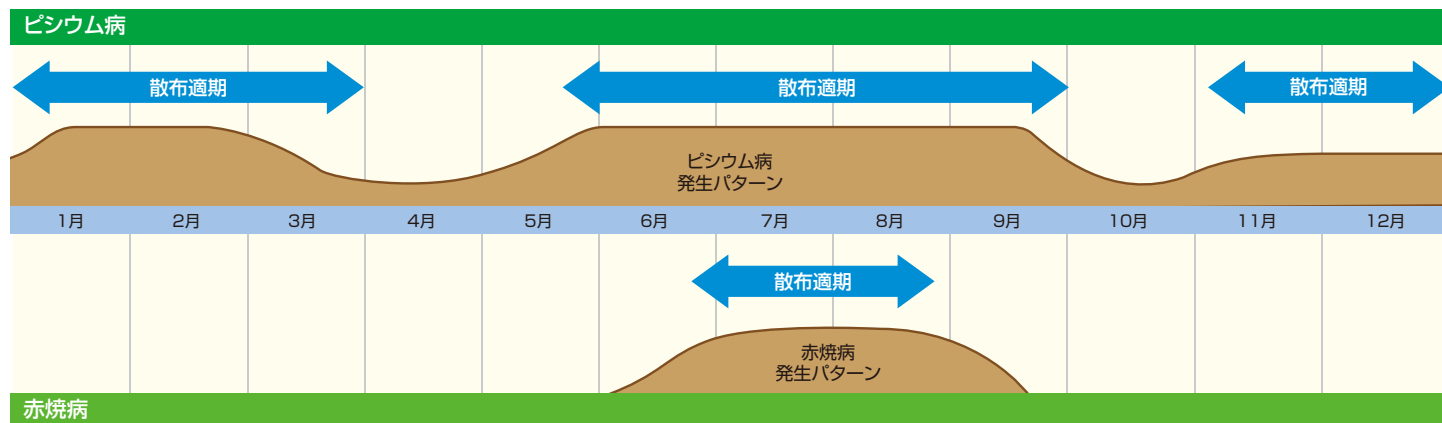


試験機関：新中国グリーン研究所
試験場所：山口県内ゴルフ場ナーセリー
芝種：ベントグラス(ペンクロス)
薬剤処理日：7月22日(病害発生前~発生初期)、
8月4日
調査日：8月18日(最終処理14日後)
対象病害発生状況：中発生

発生前の散布で、ピシウム病・赤焼病をしっかり予防します。

●対象病害発生パターンと散布適期

●ザンプロターフ®の散布適期は、発病前~発病初期です。



●芝生に高い安全性

[2012年、社内圃場試験]

芝種	薬量/㎡	水量/㎡	散布日	調査日	薬害
ベントグラス (SR1020)	0.5mℓ	500mℓ	7月31日	8月7日	薬害無し
	1mℓ			8月22日	
	2mℓ		8月22日	9月3日	
ベントグラス (ペンクロス)	0.5mℓ		7月24日	8月8日	
	1mℓ		8月8日	8月22日	

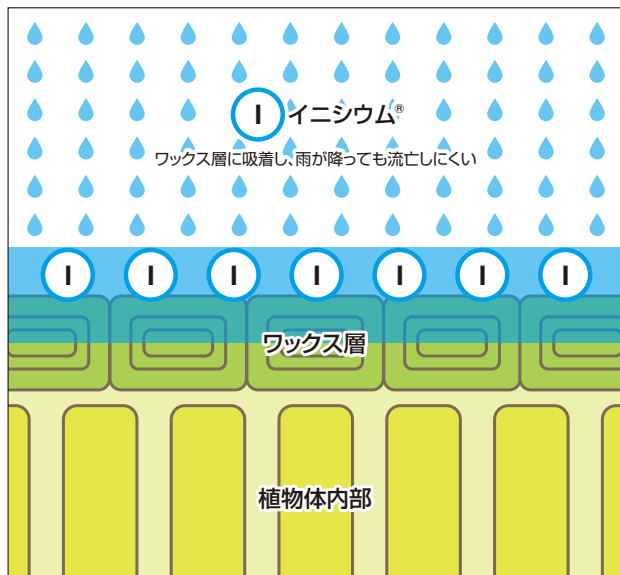
梅雨時期の散布でも高い効果(優れた耐雨性)

ベントグラスへの高い安全性

●優れた保護効果と耐雨性

- イニシウム®はワックス層に強く吸着されて安定した保護層を形成するため、優れた耐雨性と残効性を示します。
- 吸着されたイニシウム®は、水分により再配分されます。

■ワックス層へ吸着される、葉断面のイメージ図

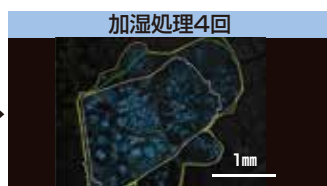
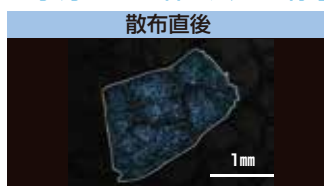


■優れた耐雨性



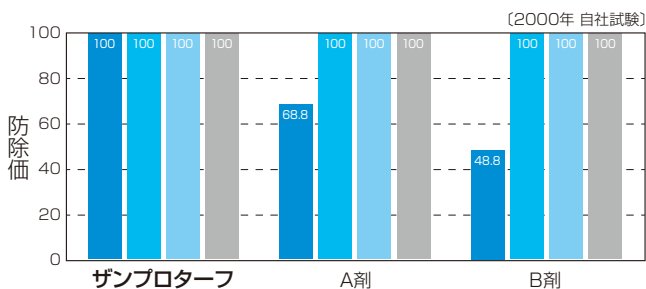
薬剤散布1週間後に20mm/hrを20分間

■水分により溶け広がる様子



ワックス層に取り込まれたイニシウム®はワックス層内を加湿条件下において拡散します。
薬剤散布後、相対湿度90%以上の条件下で毎夜4時間加湿し葉面を濡らした。加湿を4回繰り返し、ラジオイメジャーで記録した。

■耐雨性試験結果(人工降雨・ポット試験)



人工降雨のタイミング

- 処理直後(散布液乾燥後)
- 処理1時間後
- 処理2時間後
- 無降雨

※無処理の病斑直径: 2.2cm(直径)
※散布タイミングの「処理直後」は散布液がほぼ乾いた状態

試験場所: 油日アグリサーチ(株)(温室内)

芝種: ベントグラス(ベニコロス)

菌種: *Pythium graminicola*

試験設計: 薬剤処理→所定時間後に人工降雨→ピシウム菌接種

降雨量設定: 約30ミリ/時間を1時間降雨

散布液倍率: 1000倍

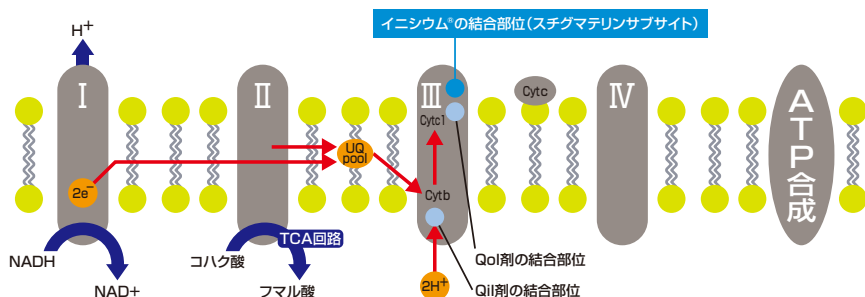
調査: 接種7日後にパッチ直径を測定

耐雨性と予防効果に優れ、梅雨時期(6~7月)のローテーションにも最適です。

*発病後の散布では効果が安定しないため、予防散布がおすすめです。

●ミトコンドリアにおける電子伝達系と殺菌剤の結合部位

病原菌の細胞質内にあるミトコンドリア内の電子伝達系複合体Ⅲに結合して、エネルギー合成を阻害することで抗菌活性を示す殺菌剤は、これまで結合部位によってQol剤とQil剤に分類されていました。ザンプロターフの有効成分であるイニシウム®は、Qol剤ともQil剤とも異なるスチグマテリンサブサイト(QoS)に結合することが確認された、**世界初の殺菌剤(QoS剤)**です。



既存の殺菌剤*と交差耐性を示しません。

*フェニルアミド系、Qol剤(ストロビルリン系)、酸アミド系、イミダゾールなど

成分・性状・物理化学的性質・規格

農林水産省登録：第23462号

殺菌剤分類 45

種類：アメクトラジン水和剤

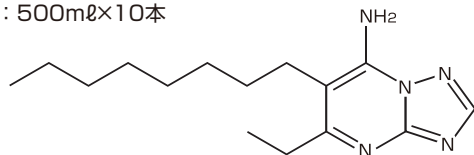
成分：イニシウム®（一般名：アメクトラジン）…18.9%

化学名：5-エチル-6-オクチル[1,2,4]トリアゾロ[1,5-a]ピリミジン-7-アミン

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

規格：500mℓ×10本

構造式



人畜・環境への高い安全性

人畜毒性（製剤）：普通物（毒劇物に該当しないものをさすという通称）

LD ₅₀ （ラット、経口）	2000mg/kg以上
LD ₅₀ （マウス、経皮）	5000mg/kg以上

魚毒性（製剤）

コイ	LC ₅₀	1000mg/L以上（96時間）
オオミジンコ	EC ₅₀	120mg/L以上（48時間）
緑藻	ErC ₅₀	100mg/L以上（72時間）

適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アメクトラジンを含む 農薬の総使用回数
西洋芝 （ベントグラス）	赤焼病 ピシウム病	200倍	0.1L/m ²	発病初期	3回以内	散布	3回以内
		1000倍	0.5L/m ²				

使用上の注意事項

- （1）使用にあたっては、容器をよく振ってください。
- （2）薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で请使用してください。
- （3）本剤の使用に当たっては使用量・使用時期・使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- （4）本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので、散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落してください。
- （5）かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- （6）公園等で使用する場合には、散布中および散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう、縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- （7）直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。

●ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届くところに置かないでください。 ●空ボトルは3回以上水洗いし、圃場などに放置せず、適切に処理してください。 ●洗浄水はタンクに入れてください。

BASFジャパン株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階

☎0120-014-660 <https://turf-ornamentals.basf.co.jp/>

BASF8006 4
202309